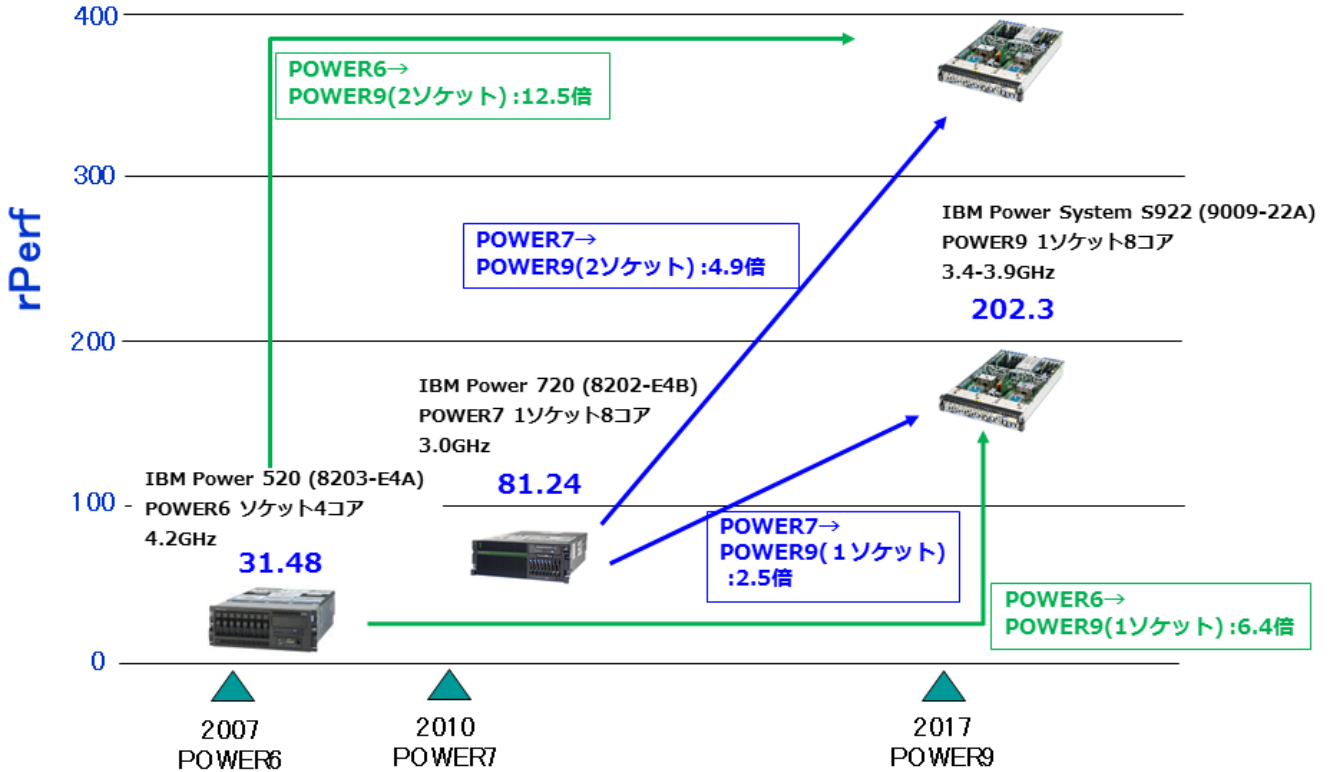


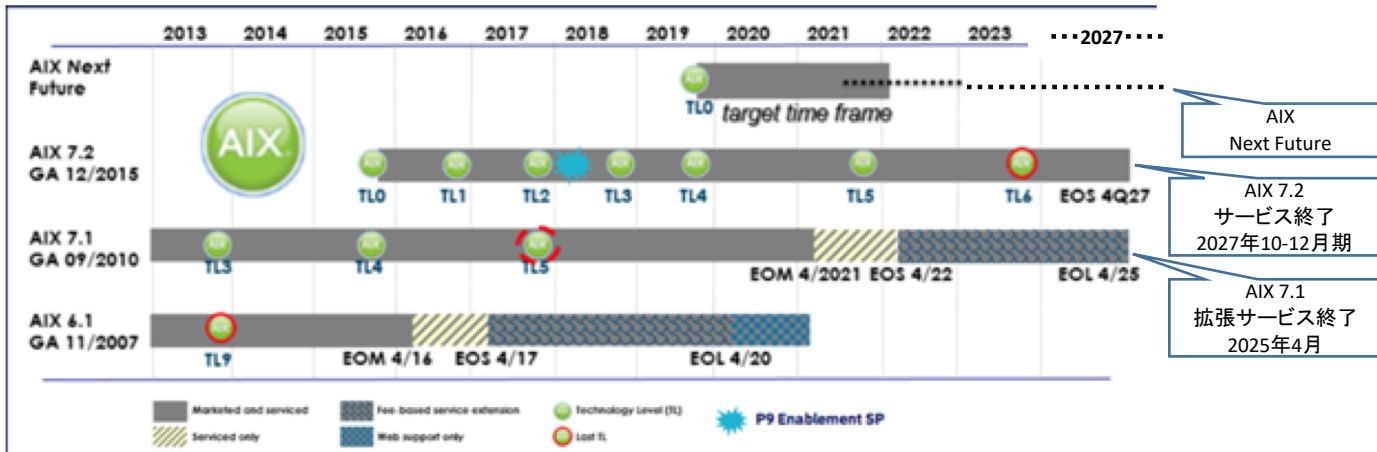
お客様のビジネス成功・イノベーションの実現にむけて POWER9への移行をお勧めします。

IBM Power Systems AIX 性能比較(rPerf)

POWER6 520(1ソケット)および POWER7 720(1ソケット)から
POWER9 S922(1ソケットおよび2ソケット)への移行例



お客様のビジネスを支えるAIXの今後10年のロードマップ



高性能なPOWER9で、AIX 新機能をフル活用しませんか？ (詳細は裏面をご覧ください)

rPerf値は、以下の、IBM Power Systems Performance Report より、引用しています。
<https://www.ibm.com/common/ssi/cgi-bin/ssialias?htmlfid=POO03017USEN> (2018年4月4日付)
<https://www.ibm.com/common/ssi/cgi-bin/ssialias?htmlfid=POO03019USEN> (2017年2月14日付)

高性能なPOWER9で、AIX 新機能をフル活用

① パフォーマンスの進化

アプリケーションの高速化
ミドルウェア・ライセンスを削減！

ハードウェアの性能向上

POWER9 は同じコア数で
POWER7比 2.5倍*のrPerf性能
(*本資料記載の移行例の場合)

内蔵SSDをキャッシュに！

アプリケーションの変更は不要！



② OSアップデート方法の進化

最新機能を少しでも活用いただきやすく！

PowerHAによるアップデート

業務停止・再起動が必要
業務停止時間 最小15分

ライブ・アップデート

業務停止・再起動が不要
業務停止時間 最小1分

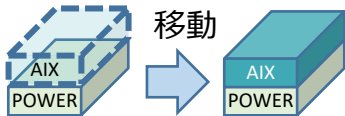
AIX
新機能

③ 業務停止時間 最小化に向けた進化

メンテナンスや障害の
ビジネス影響を最小化！

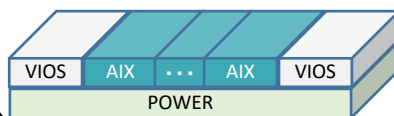
Live Partition Mobility

稼動するVMを筐体間移動



Virtual I/O Server

I/O機能集約。冗長化可能。



PowerHA Log Analytics Tool

問題判別、
傾向分析を支援

PowerHA
新機能

④ ライセンス体系の進化

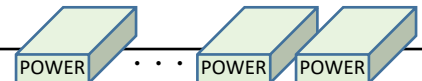
PowerVMやAIXの機能を
フル活用しながらコストも最適化！

Capacity on Demand (CoD)

CPU・メモリーを活性化するまで課金不要
Elastic CoD：季節・期末等への対応
Trial CoD：テスト用の一時拡張

Power Enterprise Pools (PEP)

ハイエンドモデル間でライセンスをプール化。
LPMやライブアップデート時に、必要ライ
センスを削減



⑤ リソース最適化高可用性機能 (ROHA)

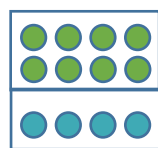
PowerHA 7.2とPower Enterprise Poolで実現する、システム資源の自動再配置

リソース最適化の例

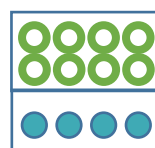
本番機

バックアップ機

モバイル・コア
スタティック・コア



PowerHA
フェール
オーバー



フェールオーバーした際に
本番のモバイルコアAIXと
PowerHAライセンスを移転可
→バックアップ機を
12コアマシンとして稼動可

必要なAIX、PowerHAライセンス：従来 24コア分 → ROHA 16コア分(上記ROHA構成)

お問い合わせ先 0120-550-210 もしくは <http://ibm.biz/firstpower> まで
「IBM Power System POWER9移行の件」と記載の上、お気軽にお問い合わせください